

サステイナビリティウィーク

2011年アムール・オホーツクコンソーシアム第二回会合に向けた国際ワークショップ

日時：

2010年11月1日 13:00～

2010年11月2日 15:00

場所：北海道大学 スラブ研究センター 大会議室

〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目 電話 011-706-2388 (直通)

主催：

北海道大学 低温科学研究所

北海道大学 スラブ研究センター

北見工業大学 未利用エネルギー研究センター

共催：

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成 スラブ・ユーラシアと世界」

国土交通省 北海道開発局

<プログラム>

11月1日 公開講演（日本語への通訳あり）

13:00-13:15 開会の辞

江淵直人（北海道大学 低温科学研究所 環オホーツク観測研究センター長）

13:15-14:00 ロシア極東地域の持続可能な経済発展と環境保全

ピョートル・Y・バクラノフ（ロシア科学アカデミー極東支部 太平洋地理学研究所長）

14:00-14:45 中国東北部における環境保全と中日経済協力

笄志剛（中国黒竜江省社会科学院東北アジア研究所 副所長）

14:45-15:00 休憩

15:00-15:45 オノン川・ヘルレン川の水文環境

D. オユンバートル&D. ジュグデル（モンゴル水文気象研究所）

15:45-16:30 日露隣接地域生態系保全協力プログラムについて

林 直樹 (外務省 欧州局 ロシア課)

コメント 大泰司紀之 (北海道大学 名誉教授; 知床科学委員会)

16:30-17:15 極東地域の持続可能な発展と越境環境保全

吉田 進 (環日本海経済研究所 名誉理事長)

17:15-17:30 閉会の辞

田畑伸一郎 (北海道大学 スラブ研究センター 教授)

18:30-20:30 懇親会 (関係者のみ)

11月2日 専門家会議 (日本語への通訳なし)

09:00-09:30 アムール川・オホーツク海生態システム保全のためになぜ多国間学術ネットワークが必要なのか?

白岩孝行 (北海道大学 低温科学研究所 准教授)

9:30-10:30 UNEP/GEF アムール川/黒龍江流域統合管理プロジェクト

アンパイ・ハラクナラック (国連環境計画 地球環境ファシリティア
ジア太平洋オフィス 担当官)

10:30-12:30 2011年第二回コンソーシアム会合に関する討議 1

座長 大西健夫 (岐阜大学 助教)

12:30-13:30 昼食

13:30-14:45 2011年第二回コンソーシアム会合に関する討議 2

座長 花松泰倫 (ジョージワシントン大学 研究員)

14:45-15:00 閉会の辞

阿部健一 (総合地球環境学研究所 教授)

問い合わせ先

北海道大学 低温科学研究所

環オホーツク観測研究センター ワークショップ事務局

FAX 011-706-7142

E-mail: ao-symposium@lowtem.hokudai.ac.jp

<http://www.chikyu.ac.jp/AMOC/>